

# 回覧

## 値小だより

島から日本一楽しい学校を  
～子どもが未来に誇れる学校～

平成30年11月30日 第15号  
校長 酒井 元治

### マスク女子とコミュニケーション



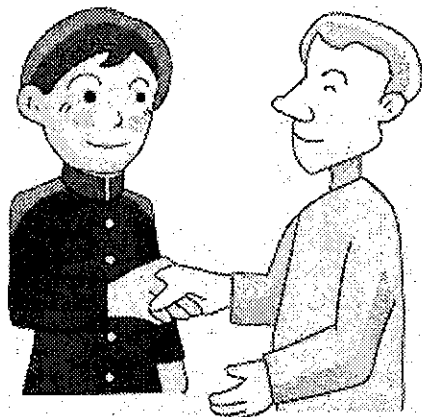
先日学校が購読している冊子(内外教育)に次のような記事があった。

全国各地の中学校で年中マスクを着用している女子が増えているという。この記事を書いた著者の訪れた中学校では女子の6割もの生徒がマスクをしている学校もあったとか。風邪気味だったり、花粉症の予防だったりすると理解できるのだが、そういった理由もなく年中だという。ある市の中学校関係者は「マスクを着用している子が多いクラスは、一般的に落ち着いていない傾向にあるので注意している。」と言う。

さらには、「スクールカースト(注)の中で支配的なリーダーシップをとる子が着用すると、そのグループの子たちも右へならえする場合があるようで、一気に“増殖する”傾向にある。」という話である。この記事では、その理由として、「相手に表情を読まれない。落ち着く。」という心理がこういった行動を流行らせているのではないかと論じている。

確かに大人でも考えていることを全て相手に悟られてしまうのは怖い。だから、自分の表情をつくることだってある。逆に相手に自分の感情がわかるように表情に表すことだって大切なコミュニケーションだ。日本人は他国の人と比べると、他人の心を推し量ることができ、気配りや心遣いといったものを持っている民族だと言われる。この文化や能力は大切な「日本人らしさ」で、日本人が他国に誇れるものだと思う。

余談だが、日本語では、相手が言わんとすることを最後まで言わなくとも、何を言いたいのかを察することができる。主語(だれが、何が)がはっきりしない文や述語(どうした、どんなだ)のはっきりしない文がある。英語では、ご存じのように主語、述語という順で並び、結論を優先する。言いたいことをはっきりと伝える言語だ。



私は 友だちと 学校に 行くよ。

(主語)

(述語)

I go to school with my friends.

(私は) (行く) (学校へ) (友だちと)

左の場合、日本語だと「私」という主語がなくとも通じる。英語ではそんな訳にはいかない。「I」がないと意味そのものが変わってしまう。

このように相手の心を推し量ることが得意な日本人が、他人に自分の感情を読ませないよう「マスク」を防衛に使うのは日本人的なのか? 忍者でもないのだから、顔の半分を覆い隠すというのは、いくら推察が得意な日本人にだって難しい。

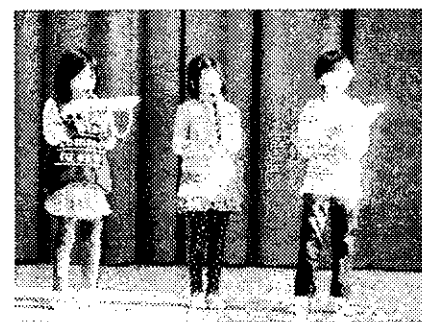
では、欧米的なのか? 日本のレストランと欧米のレストランでは次のような違いもあると聞く。日本では注文をするとき、メニューに目を落としたまま店員の顔をさほど見ないで注文することが多い。それに対して、欧米では店員と目をしっかり合わせ敬意を払って注文するのがマナーだという。

そんなことを考えると、「マスク女子」は、国際社会向けではなさそうだ。今まさに国会では「外国人労働者の受け入れを拡大する法案」が議論され、国際化が加速しようとしている。そんな社会をこれからから生き抜こうとする子どもたちには、世界に通用するコミュニケーション力を付けて欲しいと願う。小値賀にはこんな流行の波は来て欲しくない。また、私たち大人も、表情豊かに子どもたちと接したいと思う。目と目を見合わせながら。



(注) スクールカースト

学校のクラス内で、勉強以外の能力や容姿などにより各人が格付けされ、階層が形成された状態。階層間の交流が分断され、上位の者が下位の者を軽んじる傾向があることから、いじめの背景の一つともみなされている。インドのカースト制になぞらえた語。学級階層。



### 特技発表会のご案内

小値賀小学校恒例の特技発表会を下記の日程で行います。学校として授業等で指導しているというのではありませんが、表情豊かに表現して欲しいものです。子どもたちのいろいろな特技をご覧ください。

そろそろエントリーもしめ切りです。

日時 12月12日(水) 13:15~13:55

場所 小値賀小学校体育館

# 小値賀町のNIE

NIEとは「Newspaper in Education」の略で教育に新聞を活用するというものです。方法としてはいろいろあるのですが、小値賀町では、文章を読む力や自分の考えを表現する力を伸ばすこと、社会に関心を向けることをねらって、小中高一貫教育の中で次のように活用しています。

## 小値賀町のNIEの手法

- 1 小中高の担当教員で活用する新聞記事を選ぶ。  
記事は、小学校が購読している「小学生新聞」から小学生でもわかりそうな内容、子どもたちが興味をもちそうな内容、子どもたちの考えを引き出せそうな内容を選んでいきます。
- 2 記事が印刷された同じシートに、小学校6年生、中学校3年生、高校3年生の順で意見を書き足していく。(1グループは、小中高それぞれ1~2名、それぞれ別日に記入)
- 5 小中高の子どもたちの意見が書かれた1枚のシートをコピーし、それぞれの子どもたちにもどす。

実際に子どもたちが書いたシートを2つ紹介します。記事はアメリカの銃規制についてと自動運転の乗用車の開発についてです。


**記事**  
アメリカ  
自動運転で  
歩行者犠牲

アメリカ西部アリゾナ州で十八日夜、走行試験中の自動運転車が歩行者をはね、死亡させる事故を起こしました。歩行者が犠牲になった自動運転による事故は初めてと見られます。安全な自動運転の実現が難しいことが明らかになり、開発が遅れることもありそうです。

現地メディアによると、事故を起こしたのは配車サービス会社、ウーバー・テクノロジーズの車です。横断歩道がない道路を自転車を押しながら渡っていた女性を、夜間走行試験中の車がはねました。運転席には、緊急時の操作員が乗っていたそうです。ウーバーはアメリカとカナダ計四カ所の走向試験を中断する方針です。

事故が起きたアリゾナ州などは、銃のように公道での試験を認めませんでした。自動運転の産業で地元の経済をよくするためです。州の考えが今後変わるのか、注目です。

(原文はふりがな付き)



## 小学生の感想(松原 和紀)

ぼくは、自動運転の実現に賛成です。でも、このままではいけないと思います。なぜこのようなことが起きたのかをしっかりと考えて、二度とこのような事故が起きないようにすべきだと思います。

## 中学生の感想(博多屋 心)

私は松原さんの意見に反対です。自動運転の技術が開発されたら人間はもっと便利に暮らせると思います。でも、運転中にトラブルが起きてしまったら、事故を起こしてしまうと思います。今回の事故は、緊急時の操作員が乗っていたのに防げなかったことだから、事故をなくすことは難しいと思います。人間は全く関わらずに事故などを起こしてしまうと、その責任は誰がとるのでしょか。また、自動運転中に何者かがシステムを攻撃すれば、乗っている人も周りの人も危険な目にさらされます。便利な反面、リスクが大きいと思います。


## 高校生の感想(崎村 健大)

私は松原さんの意見に賛成です。まず自動運転が実現すれば大きな利点があります。それは、車を運転できない人が車に乗れるようになることです。例えば、障害者、けがをした人、老人などです。そして、ネットワークについては、データを管理するシステムを1台1台別々にすれば、事故は少しでも減ると思います。そして、歩行者などの情報を知るために道路の監視カメラの情報を常にリンクさせておけば、AIがそれを学習して事故も減ると思います。

**記事**  
アメリカ  
「ノーマー銃」に百万人  
銃を持つことや使うことの規制の強化を求める若者中心のデモ「私たちの命のための行進」が二十四日、アメリカ国内七百カ所(主催者発表)で行われました。参加者は首都ワシントンで約八十万人に達し、アメリカ全体で百万人を超えたとみられます。二月に起きた高校での銃乱射事件をきっかけに始まりました。

若者らが要求するのは、人を殺したり傷つけたりする能力の高い銃の販売禁止などです。規制に反対する団体「全アメリカライフル協会(NRA)」の支援を受ける政治家を選挙で落とそうなどと訴えています。NRAは豊富な資金と強い発言力を持っています。銃で自分を守る権利や自由が大切と考える国民もいます。運動がどこまで広がるか注目されます。

(原文はふりがな付き)



## 小学生の感想(前田 玲諸)

ぼくは銃を持つことへの規制に賛成です。理由は、銃を持つ人が減れば傷ついたり、亡くなったりする人も減るからです。それに実際に銃を乱射する事件も起きているので、またこのような事件が起こるかもしれないので、銃を持つことへの規制を強化すべきだと思います。

## 中学生の感想(橋本 龍輝)

私は前田さんの意見に反対です。確かに、銃を持つことへの規制を強化することで傷つく人は減ると思います。ですが、今まで護身用に持っていた人は不安になると思います。また、規制するのであれば、その人の精神状態がよいかどうかで決めればきっとそのような事件が起こらないと思います。だから、銃の規制の強化に反対です。

## 高校生の感想(近藤 優誠)

私は橋本さんの意見に反対です。確かに護身用で銃を持っている人は不安になると思います。しかし、精神状態だけで決めるのは危ないと思います。今までアメリカでは銃の乱射事件が何回もあり、多くの人命がなくなっています。このような事件をなくすには、やはり銃の規制強化が必要だと感じます。二度とこのような事件が起きないようにと私も思っているの、銃の規制強化に賛成です。

手前味噌ではありますが、小学生も自分の考えをしっかりと論じています。どちらも正解がない問題です。中高生も事前に書かれた小学生、中学生の文を受けて自分の意見を述べていることがわかります。このような力も大切な学力の一つだと考えます。